

産業教育のイメージ（案）

（高等学校専攻科）

※高等学校若しくはこれに準ずる学校等を卒業した者等に対して、精深な程度において、特別の事項を教授し、その研究を指導することを目的として設置される課程（修業年限1年以上）。

【高等学校】

（産業教育）

職業に関する各教科の見方や考え方を踏まえ、産業・社会の課題を捉えてその解決を目指す実践的・体験的な学習活動を通し、以下の資質・能力を育成する。

- ① 各職業分野に関する知識と技術を習得させるとともに、各職業の社会的意義や役割を理解させる。
- ② 各職業分野に関する課題（求められる職業能力の高度化、持続可能な社会の構築、グローバル化・少子高齢化等への対応）を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力を育成する。
- ③ 職業人として必要な豊かな人間性を育み、より良い社会の構築を目指して自ら学び、産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を育成する。

（共通教科）

- 家庭や個人の生活及び社会の課題の解決に必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、態度等の育成。
- 職業において共通に必要なとされる知識・技能、思考力・判断力・表現力等、態度等の育成。

【義務教育】

- 家庭や個人の生活及び社会の課題の解決に必要な基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、態度等の育成。
- 職業において共通に必要なとされる基礎的・基本的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等、態度等の育成。

※産業・社会と共有化

多様な評価手法



高等学校基礎学力
テスト（仮称）



全国学力・学習状況調査



資質・能力の三つの柱に沿った、職業に関する各教科において育成すべき資質・能力の整理（案）

平成28年3月28日
教育課程部会
職業教育WG資料7
を一部修正

	個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)	思考力・判断力・表現力等 (知っていること・できることをどう使うか)	学びに向かう力、人間性等 情意、態度等に関わるもの (どのように社会・世界と関わりよりよい人生を送るか)
産業教育 全体	- 各職業分野に関する知識と技術 - 各職業の社会的意義や役割の理解	各職業分野に関する課題(求められる職業能力の高度化、持続可能な社会の構築、グローバル化・少子高齢化等への対応)を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力	- 職業人として必要な豊かな人間性 - より良い社会の構築を目指して自ら学び、産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度
農業	- 農業の各分野に関する知識と技術 - 農業の社会的意義や役割の理解	農業に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力	- 職業人として必要な豊かな人間性 - より良い社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度
工業	- 工業の各分野に関する知識と技術 - 工業の社会的意義や役割の理解	工業の各分野に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力	- 工業を支える職業人として必要な豊かな人間性 - より良い工業と社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度
商業	- 商業の各分野に関する知識と技術 - ビジネスの社会的意義や役割の理解	ビジネスに関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力	- 職業人として必要な豊かな人間性 - より良い社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度
水産	- 水産や海洋の各分野に関する知識と技術 - 水産業及び海洋関連産業の社会的意義や役割の理解	水産や海洋に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力	- 職業人として必要な豊かな人間性 - より良い社会の構築を目指して自ら学び、水産業及び海洋関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度
家庭	- 生活産業に関する知識と技術 - 生活産業の社会的意義や役割の理解	生活産業に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力	- 職業人として必要な豊かな人間性 - より良い社会の構築を目指して自ら学び、生活産業に関わる地域の産業や生活の質の向上を目指して主体的かつ協働的に取り組む態度
看護	- 看護に関する知識と技術 - 看護の社会的意義や役割の理解	看護に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力	- 職業人として必要な豊かな人間性 - より良い社会の構築を目指して自ら学び、人々の健康の保持増進に主体的かつ協働的に取り組む態度
情報	- 情報の各分野に関する知識と技術 - 情報産業の社会的意義や役割の理解	情報に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力	- 職業人として必要な豊かな人間性 - より良い社会の構築を目指して自ら学び、情報産業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度
福祉	- 福祉の各分野に関する知識と技術 - 福祉の社会的意義や役割の理解	福祉に関する課題を発見し、職業人としての倫理観をもって合理的かつ創造的に解決する能力	- 職業人として必要な豊かな人間性 - より良い社会の構築を目指して自ら学び、広い視野をもって地域福祉の課題と向き合い、主体的かつ協働的に取り組む態度

産業教育における学習のプロセス（イメージ案）

平成28年3月28日
教育課程部会
産業教育WG資料8

他者への働きかけ、他者との協働、外部との相互作用

課題発見・解決
のプロセス

課題の発見

解決すべき職業に関する課題を把握する

課題解決の
方向性の検討

関係する情報を収集する。予想や仮説を立てる

計画の立案

計画を立案する

計画の実施

計画に基づき
解決策を実践する

結果・振り返り

結果とともに計画を検証する

次の
課題発見へ

知識・技術

・課題の発見、計画の立案・実施の基となる専門的な知識・技術の習得

・専門的な知識・技術の定着

判断・思考・表現

・職業の視点から解決すべき課題の発見

・職業人としての倫理観に基づく合理的かつ創造的な解決策の考察・決定
・関係者への説明や意見交換

・計画の実施に当たっての専門的な知識・技術の活用

・より合理的かつ創造的な改善策の考察

情意・態度

・より良い社会の構築に向け課題を発見しようとする態度

・主体的かつ協働的に課題に取り組もうとする態度

・学習したことを次の学びや産業・社会の発展に生かそうとする態度

* 上記のプロセスや評価場面は例示であり、これらに限定されたり、この全ての機会において評価を行うことが必ずしも求められるものではない。